

# Renoprotective effect of additional sodium–glucose cotransporter 2 inhibitor therapy in type 2 diabetes patients with rapid decline and preserved renal function

Kentaro Sada<sup>1,2†</sup> , Shuji Hidaka<sup>1†</sup> , Jin Kashima<sup>3</sup>, Machiko Morita<sup>1,2</sup>, Kokoro Sada<sup>1,2</sup>, Hiroataka Shibata<sup>2\*</sup> 

<sup>1</sup>Department of Diabetes and Metabolism, Koseiren Tsurumi Hospital, Oita, Japan, <sup>2</sup>Department of Endocrinology, Metabolism, Rheumatology and Nephrology, Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan, and <sup>3</sup>Department of Internal Medicine, Bungoono City Hospital, Oita, Japan

この度、Journal of Diabetes Investigation 誌に掲載されました臨床研究について、大分大学医学部医師会奨励賞を受賞させていただきました。

本研究は、Rapid decliners と呼ばれる、腎機能の指標である推定糸球体濾過量（eGFR）が急速に低下する 2 型糖尿病患者において、eGFR 60 mL/min/1.73 m<sup>2</sup> 以上でまだ維持された段階（Preserved range）から SGLT2 阻害薬を投与することで、eGFR の低下速度が改善することを報告したのになります。一度低下した eGFR を正常に戻すことは困難であり、Preserved range で保持された期間を長くすることができれば、末期腎不全への移行やその他合併症リスクの減少につながります。このため、Rapid decliners に対して早期から SGLT2 阻害薬を開始することの有益性は大きいと思われまます。

本研究の内容は大分合同新聞にも掲載して頂き、2 型糖尿病患者さんの腎保護を目的とした管理や、SGLT2 阻害薬の有効性に関する知見について、一般市民の方々にも広く情報提供させて頂くことができました。

本研究の成果から今回の受賞者として選出して頂き、大変光栄に存じます。

大変手厚い御指導を頂きました柴田教授、日高先生に心より感謝申し上げます。また、本研究に御協力頂きました加島先生、森田先生、佐田こころ先生、鶴見病院看護師長の朝倉さんにこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## HIRO'S EYE

内分泌糖尿病内科・大学院生 佐田健太郎先生

佐田健太郎先生、大分大学医学部医師会奨励賞の受賞おめでとう！

この論文は、大分県厚生連鶴見病院の佐田健太郎先生、日高周次先生が中心となって 2 型糖尿病患者に対する SGLT2 阻害薬の腎保護効果を検討した臨床研究です。SGLT2 阻害薬の心血管や腎保護効果に関する landmark 的な臨床研究は国際的に行わ



れていますが、本研究は大分県内の市中病院において、腎機能が保持されている糖尿病患者層に着目して検討した real world evidence の創出につなげた立派な論文と考えます。その研究論文が大分大学医学部医師会奨励賞に選出されたことは大変喜ばしく思います。佐田健太郎先生はすでに、本論文を含めて英文論文を3報発表しており、ますます今後の活躍が楽しみな新進気鋭の医師です。現在は大学院博士課程で基礎研究にも従事しており、今度は基礎研究での成果を期待しています。

(柴田洋孝)